



QPS 8.5.1 ReadMe

目次

| | |
|---|-----------|
| QPS 8.5.1 ReadMe | 5 |
| QPSコンポーネント | 6 |
| このバージョンで更新されたコンポーネント..... | 6 |
| 互換性マトリクス..... | 6 |
| サーバーコンポーネント..... | 7 |
| その他のオプションのコンポーネント..... | 8 |
| クライアントコンポーネント..... | 8 |
| 必要システム構成 | 9 |
| QPS Server : Mac OS | 9 |
| ハードウェア..... | 9 |
| ソフトウェア..... | 9 |
| サポート対象のプラットフォーム*..... | 10 |
| QPS Server : Windows | 10 |
| ハードウェア..... | 10 |
| ソフトウェア..... | 10 |
| サポート対象のプラットフォーム*..... | 10 |
| QPS Database* | 11 |
| QPS File Server : Mac OS | 11 |
| ハードウェアオプション..... | 11 |
| ソフトウェア..... | 11 |
| サポート対象のプラットフォーム*..... | 11 |
| QPS File Server : Windows | 12 |
| ハードウェア..... | 12 |
| ソフトウェア..... | 12 |
| サポート対象のプラットフォーム*..... | 12 |
| QPS File Server : Solaris | 12 |
| ハードウェア..... | 12 |
| ソフトウェア..... | 13 |
| QPS Connect Client : Mac OS | 13 |
| ハードウェア..... | 13 |
| ソフトウェア..... | 13 |
| サポート対象のプラットフォーム*..... | 13 |
| QPS Connect Client : Windows | 13 |
| ハードウェア..... | 13 |
| ソフトウェア..... | 13 |
| サポート対象のプラットフォーム*..... | 13 |
| QPS Web Hub | 14 |

| | |
|---|-----------|
| 推奨ハードウェア構成 | 15 |
| 小規模のQPSトラフィック | 15 |
| 中規模のQPSトラフィック（オプション1） | 16 |
| 中規模のQPSトラフィック（オプション2） | 16 |
| 大規模のQPSトラフィック..... | 17 |
| | |
| QPSソフトウェアの更新 | 19 |
| QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアの更新..... | 19 |
| QPS Serverの更新（Mac OS） | 19 |
| QPS Serverの更新（Windows） | 20 |
| QPS Databaseの更新..... | 21 |
| Windows : MS SQL ServerまたはOracle..... | 21 |
| Linux : Oracle..... | 21 |
| QuarkXPressのアップデート（Mac OS） | 21 |
| QuarkXPressのアップデート（Windows） | 22 |
| QuarkCopyDeskのアップデート（Mac OS） | 22 |
| QuarkCopyDeskのアップデート（Windows） | 22 |
| QPS Clientの更新（Mac OS） | 23 |
| QPS Clientの更新（Windows） | 23 |
| | |
| QPS 8.5.1への移行 | 24 |
| HSQLの移行..... | 24 |
| MS SQLの移行..... | 24 |
| Windows版Oracleの移行..... | 24 |
| Linux版Oracleの移行..... | 25 |
| | |
| QPS Serverの起動 | 26 |
| Mac OS..... | 26 |
| Windows..... | 26 |
| QuarkXPress Serverとサブレンダラーの再起動の自動化..... | 26 |
| Mac OS..... | 27 |
| Windows..... | 27 |
| | |
| アンインストール | 28 |
| QPS Serverのアンインストール..... | 28 |
| Mac OS..... | 28 |
| Windows..... | 28 |
| QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール | |
| | 28 |
| Mac OS..... | 28 |
| Windows..... | 30 |
| | |
| このバージョンにおける変更点 | 31 |

| | |
|-------------------|----|
| 既知および解決済みの問題..... | 32 |
| Quarkへの連絡..... | 33 |
| 南北アメリカ..... | 33 |
| 南北アメリカ以外の国々..... | 33 |
| オーストラリア..... | 34 |
| 法律上の注記..... | 35 |

QPS 8.5.1 ReadMe

Quark Publishing System® (QPS®) を導入すれば、ワークグループの出版者はアプリケーションやサーバーのネットワークシステムを介してファイルやタスクを統合できるようになります。本書には、ハードウェア要件およびソフトウェア要件の評価、環境の準備、およびQPSのインストールに関する重要な情報が含まれています。

QPSを初めてインストールする場合は、以下の順序で各コンポーネントをインストールする必要があります。

このバージョンに更新する場合は、最初にQPS 8.1.6以降のバージョンをインストールするかそのバージョンに更新してから、以下の順序で各コンポーネントを更新します。

| 手順 | ノート |
|--|---|
| QPS Serverを8.5.1に更新します。 | インストーラとアップデートは、 qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS) |
| QuarkXPress® Server 8.5.1をインストールします。 | インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS) |
| QuarkXPress Server 8.5.1用QPS XTensions®をインストールします。 | インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS) |
| QPS 8.1.6から更新する場合は、QPS Databaseを更新します。 | 詳細は、「 QPS Databaseの更新 」を参照してください。 |
| QuarkXPress 8.5.1をインストールするか、QuarkXPress 8.1以降のバージョンを8.5.1に更新します。 | インストーラはアップデートとしても使用できます。 qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS) |
| QuarkCopyDesk® 8.5.1をインストールするか、QuarkCopyDesk 8.1以降のバージョンを8.5.1に更新します。 | インストーラはアップデートとしても使用できます。 qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS) |
| QPSクライアントソフトウェア8.5.1をインストールするか、QPSクライアントソフトウェア8.1以降のバージョンを8.5.1に更新します。 | インストーラとアップデートは、 qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS) Windowsの場合、インストーラはアップデートとしても使用できます。 |

➡ qallianceftp.quark.comにアクセスできない場合は、enterprisesupport@quark.com宛てにメールでお問い合わせください。

QPSコンポーネント

QPSには、サーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネントが含まれています。これらのコンポーネントは、下記のハードウェアおよびソフトウェアの構成で正常に動作することが確認されています。

このバージョンで更新されたコンポーネント

このセクションでは、このリリースで更新されているコンポーネントを示します。このリストに含まれていないコンポーネントは、このリリースでは更新されていません。

- QPS Server
- QuarkCopyDesk
- QuarkXPress
- QuarkXPress Server
- QuarkXPress用QPS XTensions
- QuarkCopyDesk用QPS XTensions
- QPS Connect Client
- Automation Services

互換性マトリクス

以下の表は、QPS 8.1、QPS 8.1.3.0、QPS 8.1.4.0、QPS 8.1.6.0、QPS 8.5、QPS 8.5.1と互換性があるQuarkソフトウェアのバージョンを示しています。I=インストーラあり、U=アップデートあり。

| QPSソリューション | バージョン8.1 | バージョン8.1.3.0 | バージョン8.1.4.0 | バージョン8.1.6.0 | バージョン8.5 | バージョン8.5.1 |
|-----------------------------------|----------|--------------|--------------|--------------|-----------|------------|
| QuarkXPress | 8.1 | 8.12 | 8.12 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (U) |
| QuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェア | 8.1 | 8.1.3.0 | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (U) |
| QuarkCopyDesk | 8.1 | 8.13 | 8.14 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (U) |
| QuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェア | 8.1 | 8.1.3.0 | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (U) |

| QPSソリューション | バージョン8.1 | バージョン8.1.3.0 | バージョン8.1.4.0 | バージョン8.1.6.0 | バージョン8.5 | バージョン8.5.1 |
|--|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------|-------------|
| QuarkXPress Server | 8.1 | 8.1.2 | 8.1.4 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (I) |
| QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェア | 8.1 | 8.1.3.0 | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (U) |
| QPS Connect Client | 8.1 | 8.1.3.0 | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (U) |
| QPS Server | 8.1 | 8.1.3.0 | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (U) |
| QPS Server XDK | 8.1 | 8.1.3.0 | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (I/U) |
| QPS Client XDK | 8.1 | 8.1.3.0 | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (I/U) |
| QuarkXPress用QPS XTensions XDK | 8.1 | 8.1.3.0 | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (I/U) |
| QuarkCopyDesk用QPS XTensions XDK | 8.1 | 8.1.3.0 | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5.1 (I/U) |
| Alfresco® 3.1用QPS Adapter | 8.1, 8.1.0.1 | 8.1.0.1 | 8.1.0.1 | 8.1.0.1 | — | — |
| InDesign CS4およびInCopy CS4用QPS Connect | 8.1 | 8.1 | 8.1 | 8.1.6.0 | 8.5 (I/U) | 8.5 (I/U) |
| SharePoint 2010用QPS Adapter | — | — | — | — | 8.5 (I) | 8.5 (I) |
| Automation Services | — | — | 8.1 | 8.1.6.0 | 8.5 (I) | 8.5.1 (I) |
| Altova® MapForce® | 2010 r1 | 2010 r1 | 2010 r1 | 2010 r1 | 2010 r3 | 2010 r3 |
| QPS Portal Services | — | — | 8.1.4.0 | 8.1.6.0 | — | — |

➡ Automation Services、QuarkXPress Server、およびQuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのアップデートはありません。更新するには、以前のバージョンをアンインストールして新しいバージョンをインストールします。ユーザーデータはすべて保持されます。

サーバーコンポーネント

- QPS Serverソフトウェア
- QPS File Server
- QuarkXPress® Server（最小システム構成およびインストール手順については、*QuarkXPress Server ReadMe*ファイルを参照してください）
- Quark® License Administrator (QLA) 4.5（Quarkソフトウェアのライセンス管理用）

QPSコンポーネント

その他のオプションのコンポーネント

- Oracle® 10.2.0.4 (Windows®またはLinux) を使用したQPSデータベース
- Microsoft® SQL Server® 2005 SP2 (Service Pack 2) またはMicrosoft SQL Server 2008 SP1上で動作するQPSデータベース
- QPS Script Manager (タスクの自動化)
- InDesign CS4用QPS Adapter
- SharePoint 2010用QPS Adapter
- Automation Services

クライアントコンポーネント

- QPS Connect Client
- QuarkCopyDesk 8.5.1 (QuarkCopyDesk用QPS XTensions®ソフトウェアを含む)
- QuarkXPress® 8.5 (QuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェアを含む)
- QPS Web Hub

必要システム構成

下記のQPS必要システム構成は、基準となる構成ではありますが、ユーザー数、アセット数、およびアセットリビジョン数によってシステムパフォーマンスは変動します。アスタリスクが付いた要件は、これらの変動要素によって影響を受けます。これらの変動要素を考慮するためのガイダンスについては、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。RAM要件は、コンピュータ上の他のサードパーティアプリケーションを考慮していません。また、QuarkXPress Server、QuarkXPress、およびQuarkCopyDeskの要件は下記には含まれていません。これらのアプリケーションのシステム要件については、それぞれのReadMeファイルを参照してください（アプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダに保存されています）。

- ➡ 本書に記載されたオペレーティングシステムの要件には、最新のパッチおよびサービスパックが含まれています。
- ➡ QPSは、VMWare ESXi対応確認済みです。QuarkXPress Serverは、QPSの一部としてのみVMWare ESXi対応確認済みです。
- ➡ QPSは、Citrix Presentation Server 4.5およびCitrix XenApp 5.0との動作が確認されています。

QPS Server : Mac OS

ハードウェア

- 合計4GBのRAM（少なくとも、RAMの合計空き容量の半分をQPS Serverに割り当てることをお勧めします）*
- 1GBのハードディスクの空き容量*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

- ➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Mac OS® 10.4.11、Mac OS 10.5.8、またはMac OS 10.6.4
- Mac OS Server 10.4.11、Mac OS Server 10.5.8、またはMac OS Server 10.6.4
- Java™ Development Kit (JDK™) 1.5または1.6

- Quark License Administrator (QLA) 4.5 (QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります)
- QuarkXPress Server (QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります。QPS Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることをお勧めします)

サポート対象のプラットフォーム*

- Intelプロセッサ (推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
- G5 PowerPC®プロセッサ (サポート対象ですが、非推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているG5 Xserve®
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro

QPS Server : Windows

ハードウェア

- 合計4GBのRAM (QPS Serverにできるだけ多くのRAMを割り当てることをお勧めします。ただし、Windows®で約1.6GBを超える割り当てを行うことはできません) *
- 1GBのハードディスクの空き容量*
- TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Microsoft® Windows Server 2003 (Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット)
- Microsoft Windows Server 2008 (Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット)
- .NET Framework 3.5 SP1
- Java Development Kit (JDK) 1.6
- Quark License Administrator (QLA) 4.5 (QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります)
- QuarkXPress Server (QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります。QPS Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることをお勧めします)

サポート対象のプラットフォーム*

- マルチコアXeon®プロセッサベースのサーバー
- Intel® Core™ 2 Duo

- VMware ESXi (仮想化プラットフォーム)

QPS Database*

- 埋め込みモードのHSQL DB 1.8 (インストール時にHSQL DBを選択した場合、QPS Serverインストーラによってこのデータベースが埋め込みモードでインストールされず)
- Microsoft SQL Server 2005 SP2またはMicrosoft SQL Server 2008 SP1、Standard EditionまたはEnterprise Edition
- Red Hat Enterprise Linux 5、Microsoft Windows Server 2003またはMicrosoft Windows Server 2008上で動作するOracle Database 10g Release 2 (10.2.0.4)

➡ Microsoft SQL Serverデータベースを使用する場合、先にMicrosoft SQL Serverをインストールする必要があります。WindowsでOracleデータベースを使用する場合には、まずOracleをインストールする必要があります。次に、インストーラである"QPS Server.exe"をWindowsで実行して**QPS Databaseのインストール**をクリックし、画面の指示に従って、QPSスキーマをMicrosoft SQL ServerデータベースまたはOracleデータベースに作成します。

QPS File Server : Mac OS

ハードウェアオプション

- 合計2GBのRAM*
- 5~150GBのハードディスクの空き容量 (アセット数によって異なります) *
- TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Mac OS X Server 10.4.11、Mac OS X Server 10.5.8、またはMac OS 10.6.4

サポート対象のプラットフォーム*

- Intelプロセッサ (推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
- G5 PowerPC®プロセッサ (サポート対象ですが、非推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアを実行するG5 Xserve® (サポート対象ですが、非推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro

➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。QPS

ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

QPS File Server : Windows

ハードウェア

- 合計2GBのRAM*
- 5～150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Microsoft Windows Server 2003（Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット）
- Microsoft Windows Server 2008（Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット）

サポート対象のプラットフォーム*

- Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Edition（推奨）が稼動しているIntel vPro™テクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
- Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Editionが稼動しているシングルプロセッサのIntel® Pentium® 4/Pentium D/デュアルプロセッサのXeon

➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。QPS ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

QPS File Server : Solaris

ハードウェア

- SPARC™ベースまたはx64/x86ベースのシステム
- 合計2GBのRAM
- 5～150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）*

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Sun™ Solaris™ 8以降

QPS Connect Client : Mac OS

ハードウェア

- 合計1GBのRAM*
- プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量
- TCP/IPネットワーク

ソフトウェア

- Mac OS X 10.5.8またはMac OS X 10.6.4

サポート対象のプラットフォーム*

- Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のiMac
- Mac OS Xクライアントソフトウェアが稼働しているIntel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMacBookまたはMacBook Pro
- Mac OS Xクライアントソフトウェアを実行するMac Pro
- Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMac mini

QPS Connect Client : Windows

ハードウェア

- 合計1GBのRAM*
- プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量

ソフトウェア

- Microsoft Windows XP Professional Edition、またはWindows 7 BusinessまたはUltimate
- .NET Framework 3.5 SP1

サポート対象のプラットフォーム*

- Windows XP Professional Editionが稼働しているIntel Core 2 DuoプロセッサまたはWindows 7 Professional Edition
- Windows XP Professional Editionが稼働しているIntel XeonプロセッサまたはWindows 7 Professional Edition

必要システム構成

- Windows Vista (Business EditionまたはUltimate Edition)が稼動しているIntel vProテクノロジーおよびIntel Core 2 DuoまたはWindows 7 (Business EditionまたはUltimate Edition)が稼動しているIntel vProテクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
- Windows XP Professional Editionが稼動しているIntel Pentium 4プロセッサまたはWindows 7 Professional Edition

QPS Web Hub

- Mozilla Firefox 3.6.x (Mac OSまたはWindows) 、 Microsoft Internet Explorer 7.x (Windows) 、 Microsoft Internet Explorer 8.x (Windows) 、 Safari 5.x (Mac OS) 、 Google Chrome 6.x (Mac OSおよびWindows)

➡ * 詳細は、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。

推奨ハードウェア構成

以下の要因を考慮して、組織に必要なハードウェアを特定してください。変動要素には、ユーザー数、アセットの数、アセットの種類（サイズの小さいテキストファイル、サイズの大きい画像ファイルなど）、アセットのリビジョン数があります。アセットを検索するとき、QPS Serverのパフォーマンスはマスターファイルの数（各アセットの現在のバージョン）に左右されます。リビジョンの数はQPS Serverのパフォーマンスに影響しませんが、リビジョン番号の変動要素はQPS File Serverに必要なディスク容量に影響します。また、複数のユーザーからの検索処理数を増やしても、QPS Serverのパフォーマンスに影響することがあります。

アカウント管理者に問い合わせ、以下の推奨構成に基づいて組織のニーズを特定してください。小容量、中容量、大容量の各構成は、QPS Connect Clientウィンドウの**ユーザーアクティビティ**画面に表示されるログオンユーザー数（ユーザーセッション数）に基づいた推定です。

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

小規模のQPSトラフィック

下記の構成で、小規模のQPSワークフロー（約30ユーザーおよび5,000アセット）を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverは別のコンピュータで使用することをお勧めします。

コンピュータ1：QPS Database (HSQL)、QPS Server、QPS File Server

- **RAM**：4GB（1GBはJava Virtual Machineへの割り当て）
- **ハードディスク**：1GBの空き容量（アセットに必要な5~150GB以外）
- **RAID**：不要
- **CPU**：Dual Core Intel（推奨）
- **ネットワーク**：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ2：QuarkXPress Server（2つのサブレンダラ）

推奨ハードウェア構成

- RAM : 4GB
- ハードディスク : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- RAID : 不要
- CPU : Dual Core Intel (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

中規模のQPSトラフィック (オプション1)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverコンピュータ用により多くのRAMを割り当てる必要があります。このオプションでは、サーバーコンピュータを2台で構成することを提案しています。

コンピュータ1 : QPS Database (HSQL) 、 QPS Server、 QPS File Server

- RAM : 8GB (2GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- ハードディスク : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- RAID : 1+0を推奨
- CPU : 4 Core Intel Xeon、 64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QuarkXPress Server (4つのサブレンダラ)

- RAM : 8GB
- ハードディスク : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- RAID : 不要
- CPU : 4 Core Intel Xeon、 64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

中規模のQPSトラフィック (オプション2)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS DatabaseにRedundant Array of Independent Drives (RAID) を使用することで、アセットへのアクセスパフォーマンスが向上します。このオプションでは、サーバーコンピュータを3台で構成することを提案しています。

コンピュータ1 : QPS Database (Microsoft SQL ServerまたはOracle)

- RAM : 8GB
- ハードディスク : 20GBの空き容量
- RAID : RAID 1+0
- CPU : 4 Core Intel Xeon、 64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QPS Server、QPS File Server

- **RAM** : 8GB (1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- **ハードディスク** : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ3 : QuarkXPress Server (4つのサブレンダラ)

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

大規模のQPSトラフィック

下記の構成で、大規模のQPSワークフロー (150ユーザーおよび60,000アセット以上) を適切に処理できます。この規模を超える要件の場合は、enterprisesupport@quark.com にお問い合わせください。

コンピュータ1 : QPS Database (Microsoft SQL ServerまたはOracle)

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 40GBの空き容量
- **RAID** : RAID 1+0
- **CPU** : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QPS Server、QPS File Server

- **RAM** : 8GB (1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- **ハードディスク** : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ3 : QuarkXPress Server (8つのサブレンダラ)

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)

推奨ハードウェア構成

- ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

QPSソフトウェアの更新

QPS 8.5.1に更新する場合は、QPS Serverを更新する前にすべてのアセットをチェックインしてください。QPS File Serverを保持できます。各QuarkXPressプロジェクトおよびQuarkCopyDeskアークティクルは、アセットをチェックアウトしてチェックインし直したときにQPS 8.5.1フォーマットに変換されます。

QuarkソフトウェアをQuark License Administrator (QLA) で管理している場合は、アップグレードの前にライセンスをチェックインしてください。

QPS 8.5.1に更新する前にQPS 8.1.6またはQPS 8.5をインストールする必要があります。QuarkCopyDeskおよびQuarkXPressをアップグレードする手順については、それぞれのReadMeファイルを参照してください。

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアの更新

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアを更新するには、以下の手順に従います。

- 1 Windowsで、Windowsのアンインストーラを使用して既存のQuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをアンインストールします。
- 2 Windowsでは、Windowsのアンインストーラを使用して、QuarkXPress Serverの既存のインスタンスをアンインストールします。Mac OSでは、既存のQuarkXPress Serverアプリケーションフォルダをごみ箱にドラッグします。
- 3 QuarkXPress Server 8.5.1をインストールします。詳細は、『**QuarkXPress Server ReadMe**』を参照してください。
- 4 「QPS Serverの更新 (Mac OS)」または「QPS Serverの更新 (Windows)」の説明に従ってQPS Serverを更新します。
- 5 QuarkXPress Server用QPS Server XTensionsソフトウェアをインストールするには、「QuarkXPress Server XTensions」フォルダのインストーラを実行します。

QPS Serverの更新 (Mac OS)

- ➡ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデータにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

QPS Serverを更新するには、下記の手順を実行します。

QPSソフトウェアの更新

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server ConsoleとQPS Server StatusMenuを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 **QPS Serverアップデータ**をダブルクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 5 **続ける**をクリックします。
- 6 プロセスが完了したら**終了**をクリックします。
- 7 QPS Serverを起動します。

QPS Serverの更新 (Windows)

- ➡ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデータにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。
- ➡ QPS 8.1.6のインストール時にMicrosoft SQL ServerまたはOracleを選択した場合は、データベースを更新するためにQPS Database更新プログラムを実行する必要があります。詳細は、「[Windows : MS SQL ServerまたはOracle](#)」を参照してください。

QPS Serverを更新するには、下記の手順を実行します。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server Consoleを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックして**QPS Serverのインストール**を選択するか、QPS Serverフォルダにある"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。インストーラは自動的にQPSのインストールを検出して更新モードに切り替わります。
- 5 **次へ**をクリックします。
- 6 画面の指示に従います。
- 7 プロセスが完了したら**完了**をクリックします。
- 8 QPS Serverを起動します。

QPS Databaseの更新

以下のトピックでは、QPS Databaseを更新する方法について説明します。

- ➡ QPS Databaseは、Windows上で動作するMS SQL Server、Windows上またはLinux上で動作するOracleを使用する場合のみ更新する必要があります。HSQL QPS Databaseは、QPS Serverのアップデートを実行すると更新されます。

Windows : MS SQL ServerまたはOracle

Windows上で動作するMS SQL ServerまたはOracleをQPSデータベースとして使用している場合は、下記の手動での手順を実行します。

- ➡ この手順は、QPS 8.1.6.xからQPS 8.5.1に更新する場合のみ必要です。

- 1 QPS Serverをシャットダウンします。
- 2 データベースをインストールしたコンピュータ上で、Updater/QPS Server/Databaseディレクトリに移動します。
- 3 "Update.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

Linux : Oracle

Linux上で動作するOracleをQPSデータベースとして使用している場合にQPSデータベースを更新するには、下記の手動での手順を実行します。

- 1 QPS Serverをシャットダウンします。
- 2 Updater/QPS Server/Database/Oracleディレクトリに移動します。
- 3 "Update"フォルダを、Oracleをインストールしたコンピュータのローカルのハードドライブにコピーします。このフォルダにはデータベース更新スクリプトが含まれます。
- 4 コマンドプロンプトを表示して、ローカルのハードドライブの"Update"フォルダに移動します。
- 5 "Update.sh"スクリプトを実行するには、`sh Update.sh`と入力して以下の引数を指定します。
 - **SysPwd** : データベースのSYSユーザーのパスワード
 - **QPPUser** : QPSスキーマの名前
 - **QPPPwd** : QPSスキーマのパスワード
 - **ServiceName** : Oracleサービス名

QuarkXPressのアップデート (Mac OS)

QuarkXPress にアップデートするには、下記の手順を実行します。

- 1 QuarkXPressが実行されていないことを確認します。

- 2 アップデート中に問題が発生した場合にソフトウェアの正常に機能するコピーがあるように、ハードディスク上にQuarkXPressアプリケーションフォルダのコピーを作成します。
- 3 QuarkXPressアプリケーションフォルダとアプリケーションの名前がインストール時のものから変更されていないことを確認してください。
- 4 QuarkXPressインストーラファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QuarkXPressのアップデート (Windows)

QuarkXPress にアップデートするには、下記の手順を実行します。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 QuarkXPressが実行されていないことを確認します。
- 3 アップデート中に問題が発生した場合にソフトウェアの正常に機能するコピーがあるように、ハードディスク上にQuarkXPressアプリケーションフォルダのコピーを作成します。
- 4 QuarkXPressアプリケーションフォルダとアプリケーションの名前がインストール時のものから変更されていないことを確認してください。
- 5 QuarkXPressインストーラファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QuarkCopyDeskのアップデート (Mac OS)

QuarkCopyDesk にアップデートするには、下記の手順を実行します。

- 1 QuarkCopyDeskが実行されていないことを確認します。
- 2 アップデート中に問題が発生した場合にソフトウェアの正常に機能するコピーがあるように、ハードディスク上にQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダのコピーを作成します。
- 3 QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダとアプリケーションの名前がインストール時のものから変更されていないことを確認してください。
- 4 QuarkCopyDeskインストーラファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QuarkCopyDeskのアップデート (Windows)

QuarkCopyDesk にアップデートするには、下記の手順を実行します。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 QuarkCopyDeskが実行されていないことを確認します。
- 3 アップデート中に問題が発生した場合にソフトウェアの正常に機能するコピーがあるように、ハードディスク上にQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダのコピーを作成します。
- 4 QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダとアプリケーションの名前がインストール時のものから変更されていないことを確認してください。
- 5 QuarkCopyDeskインストーラファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QPS Clientの更新 (Mac OS)

Mac OS上でQPS Connect Clientを更新するには、下記の手順を実行します。更新プロセスには、QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsソフトウェアの置き換えが含まれます。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、アップデートファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にして更新を行ってください。
- 2 "QPS Client Updater.app"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QPS Clientの更新 (Windows)

Windows上でQPS Connect Clientを更新するには、下記の手順を実行します。更新プロセスには、QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsソフトウェアの置き換えが含まれます。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、アップデートファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にして更新を行ってください。
- 2 "Update.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QPS 8.5.1への移行

以下のトピックでは、QPS 8.1.6.xから8.5.1に移行する方法について説明します。

➡ このセクションの手順は、QPS 8.1.6.xから更新する場合のみ必要です。

HSQLの移行

HSQLデータベースを移行するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Serverのアプリケーションフォルダをバックアップします。
- 3 QPS Serverのアップデートを実行します。
- 4 QPS Serverを起動します。

MS SQLの移行

MS SQLデータベースを移行するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Serverのアプリケーションフォルダをバックアップします。
- 3 QPS Serverのアップデートを実行します。
- 4 QPSデータベースをバックアップします。
- 5 データベースを更新します。詳細は、「[QPS Databaseの更新](#)」を参照してください。
- 6 QPS Serverを起動します。

Windows版Oracleの移行

Windows上で動作するOracleデータベースを移行するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Serverのアプリケーションフォルダをバックアップします。

- 3 QPS Serverのアップデートを実行します。
- 4 QPSデータベースをバックアップします。
- 5 データベースを更新します。詳細は、「[QPS Databaseの更新](#)」を参照してください。
- 6 QPS Serverを起動します。

Linux版Oracleの移行

Linux上で動作するOracleデータベースを移行するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Serverのアプリケーションフォルダをバックアップします。
- 3 QPS Serverのアップデートを実行します。
- 4 QPSデータベースをバックアップします。
- 5 データベースを更新します。詳細は、「[QPS Databaseの更新](#)」を参照してください。
- 6 QPS Serverを起動します。

QPS Serverの起動

Mac OSとWindowsでは、QPS Serverの起動方法が異なります。Mac OSでは、QPS Serverのインストールが完了すると、**QPS Server Console**が表示され、**QPS Serverを起動**をクリックできます。また、QPS Serverをサービスとしてインストールするか、**マシンが再起動したときに自動的に起動**をオンにすると、QPS Serverコンピュータを再起動したときにQPS Serverが自動的に起動します。

Mac OS

Mac OSでQPS Serverを起動するには、以下の手順に従います。

- 1 アップルメニューで**システム環境設定**を選択します。
システム環境設定ウィンドウが表示されます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの下部にある**その他**の下の**QPS Server**をクリックします。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 3 QPS Serverを**起動**をクリックします。
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

Windows

WindowsでQPS Serverを起動するには、以下の手順に従います。

- 1 スタート > **すべてのプログラム** > **QPS Server** > **QPS Server Console**を選択します。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 2 QPS Serverを**起動**をクリックします。
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

QuarkXPress Serverとサブレンダラーの再起動の自動化

QuarkXPress Serverをインストールしたら、以下のパラメータを指定して、サブレンダラーの監視機能を有効にしてQuarkXPress Serverが起動されるようにします。QuarkXPress Serverのマスタープロセスは、サブレンダラーのプロセスを監視し、必要に応じてサブレンダラーを再起動します。監視の間隔を指定するには"-queryinterval"パラメータを使用し、再試行の回数を指定するには"-noofreties"パラメータを使用します。

Mac OS

- 1 テキスト編集アプリケーションを使用し、"QuarkXPress Server"アプリケーションフォルダのルートレベルから"QuarkXPressServer.config"を開きます。
- 2 以下を入力します。COMMANDLINE=-subrenders 2 -noui -monitorsubrenders -queryinterval 60 -noofretries 3
- 3 "QuarkXPressServer.config"を保存します。

Windows

- 1 テキスト編集アプリケーションを使用し、"QuarkXPress Server"アプリケーションフォルダのルートレベルから"QuarkXPressServer.config"を開きます。
 - 2 以下を入力します。COMMANDLINE=-subrenders 2 -noui -monitorsubrenders -queryinterval 60 -noofretries 3 -recycle
 - 3 "QuarkXPressServer.config"を保存します。
- ➡ 可能であれば、keepaliveスクリプトを使用してQuarkXPress Serverを起動します。詳細は、『**QuarkXPress Serverガイド**』の「Keepaliveスクリプト」を参照してください。

アンインストール

QPS Serverのアンインストール

Mac OS

QPS Serverをアンインストールするには、まずQPS Serverをシャットダウンし、QPS Server ConsoleおよびQPS Serverの状況メニューを終了します。次に、QPS Serverのアプリケーションフォルダを開いて**QPS Server Uninstaller**をダブルクリックし、画面の指示に従います。

Windows

QPS Serverをアンインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止し、QPS Server Consoleを終了します。
 - 2 **スタート > すべてのプログラム > QPS Server > QPS Serverのアンインストール**を選択します。
 - 3 **はい**をクリックします。アンインストール処理に必要な情報がアンインストーラによって収集されます。
 - 4 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。
- ➡ アンインストーラは自動的に終了し、メッセージは表示されません。
- ➡ QPS Serverソフトウェアの削除は、**コントロールパネル > プログラムの追加と削除**から行うこともできます。

QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール

Mac OS

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ハードドライブの"Applications"フォルダ（またはQPS Connect Clientアプリケーションをインストールしたフォルダ）を開き、"QPS Client"フォルダをごみ箱にドラッグします。
- 2 下記のフォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダから削除します。

- QPPPlugins
 - QPSLog
- 3 Controlキーを押しながらQuarkXPressアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 4 下記のファイルおよびフォルダを削除します。
- QPPCore.framework
 - QPPPluginInterface.framework
 - QPPServiceProxy.framework
 - QPPUIExtensions.framework
 - QPSXControls.framework
 - UIAccessLayer.framework
- 5 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkXPressアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。
- QPS XT.xnt
 - QCDImportFilter.xnt
 - Notes.xnt
 - CopyDeskArticleXT.xnt
 - RedlineXT.xnt
- 6 下記のフォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダから削除します。
- QPPPlugins
 - QPSLog
- 7 Controlキーを押しながらQuarkCopyDeskアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 8 下記のファイルおよびフォルダを削除します。
- QPPCore.framework
 - QPPPluginInterface.framework
 - QPPServiceProxy.framework
 - QPPUIExtensions.framework
 - QPSXControls.framework
 - UIAccessLayer.framework
- 9 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。

アンインストール

- QPS XT.xnt
- QPSPlaceholdersXT.xnt

Windows

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Connect Clientを終了します。
 - 2 **スタート > すべてのプログラム > QPSクライアント > QPSクライアントのアンインストール**を選択します。
 - 3 **はい**をクリックします。アンインストーラがアンインストールに必要な情報を収集し、QPS Connect Clientアプリケーションフォルダの内容が削除されることを示す警告が表示されます。
 - 4 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。
- ➡ QPS Connect Clientインストーラを使用してQuarkCopyDeskおよびQuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェアをインストールしていた場合は、QPS Connect Clientアンインストーラは、これらのXTensionsソフトウェアモジュールも削除します。

このバージョンにおける変更点

このバージョンのQPSにはバグフィックスが含まれています。

既知および解決済みの問題

このバージョンのソフトウェアに存在する既知の問題および解決済みの問題の一覧については、QuarkのWebサイト (www.quark.comまたはeuro.quark.com) にアクセスしてください。

Quarkへの連絡

このソフトウェアのインストール、設定、または使用方法についてのご質問は、Quarkにお問い合わせください。

南北アメリカ

企業向け製品（QPSおよびQuarkXPress Server）のテクニカルサポートについては、800.788.0045（月～金、午前7：00～午後6:00、米国山岳時間）までお電話でお問い合わせいただくか、またはenterprisesupport@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

デスクトップ製品（QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk）のテクニカルサポートについては、800.676.4575（月～金、午前7：00～午後5:00、アメリカ山岳部時間）までお電話でお問い合わせいただくか、またはtechsupp@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

製品情報については、Quarkウェブサイトwww.quark.comをご覧ください。または、cservice@quark.com宛てに電子メールでお問い合わせください。

南北アメリカ以外の国々

英語のテクニカルサポートの電話での受付時間は、中央ヨーロッパ時間の月～金、8:30～17:30です。電子メールでのお問い合わせの宛先は、enterprisesupport@quark.comです。

オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、およびイギリスでは、電話で00800 1787 8275に問い合わせてください。南北アメリカ以外のその他すべての国では、以下の番号にお問い合わせください。

- ベルギー：0800.77.296
- フランス：0800.91.3457
- ドイツ：0800.180.0101
- アイルランド：1800.55.0241
- イタリア：800.87.4591
- 日本：00531.13.1492
- ルクセンブルグ：8002.3861
- ノルウェー：800.1.4398

QUARKへの連絡

- スペイン : 900.941.328
- スウェーデン : 020.790.091
- スイス : 0800.55.7440
- イギリス : 0808.101.7082

製品情報については、Quarkウェブサイト euro.quark.com をご覧ください。または、eurocservice@quark.com 宛てに電子メールでお問い合わせください。

オーストラリア

テクニカルサポートについては、1 800.670.973（月～金、午前10:00～午後7:00、シドニー時間（AEST））にお電話でお問い合わせいただくか、または austechsupp@quark.com 宛てに電子メールでご連絡ください。

法律上の注記

© 1986-2011 Quark, Inc. and its licensors. All rights reserved.

米国特許番号5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843および出願中の特許によって保護されています。

Quark、Quarkロゴ、Quark Publishing SystemおよびQPSは、Quark Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

